

目標達成計画

作成日：令和 2 年 1 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	認知症高齢者の特性である記憶障害の進行により理解力、判断力の低下などの障害をきたしている中でもその人らしさを支え「尊厳の保持」「傾聴ある態度」「プライバシー保護」をケアの基本としなければならない。	生活の継続性が尊重されるよう、著しく進行していく認知症状と向き合い個別対応を行い、本人の不安を取り除き生活の安定を確保していく。	認知症介護の質の向上を図るためには、知識や学び・職員が持っている情報収集を共有することが重要である。チーム連携を密とし、一体的な構築を活かしながら暮らしの支援に役立てたい。	12ヶ月
2	1	認知症ケアに戸惑いを感じたら、初心に戻り、自身のケアを振り返り、取り組んでいく姿勢が必要である。	その人らしい日常生活をその人のペースに合わせた支援提供(ケアの目的や目標、方法)をチームで行う為、感受性を磨き、相手の立場で考える習慣をつける。	認知症の進行で意思疎通ができにくくなった方でもそばに誰かがいる環境が居心地の良い重要なケアの1つである。話を聴いてくれる人、話をしてくれる人が側にいる事で楽しさや喜び、安心や安定を得る要素に繋がる。	12ヶ月
3	35	災害時に備え緊急時対応マニュアルを作成し、職員全員で周知徹底する。「想定外」の場面においても混乱しない精神力、適切な行動、判断が出来るように様々な視点から状況分析や取り組みを検討しておく必要がある。	年2回の避難訓練以外にも定例会議のなかで災害対策に向けた日常的な備えや近隣の住民、施設との協力体制の強化など整備を行う。近隣に住む職員との連携体制も整えておく。	運営推進委員会議の中で情報を収集し、地域の方との信頼関係を深めていく。夜間は一人体制なので状態を常に意識して業務に当たれるよう模索しておく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。